

(2) 施設園芸の高度化の推進

【産地活性化総合対策事業

10,704 (6,515) 百万円の内数】

【農畜産業機械等リース支援事業

1,627 (2,742) 百万円の内数】

【強い農業づくり交付金

3,127 (14,385) 百万円の内数】

対策のポイント

産地の収益力向上に向けて、低コスト耐候性ハウス等の導入や高度環境制御栽培施設などの高度な施設園芸の普及・拡大の取組を支援します。

<背景/課題>

- ・野菜などの園芸作物は、長期貯蔵ができないため、安定して周年供給するためには、園芸用施設による栽培が不可欠。
- ・園芸用施設のうち高度環境制御栽培施設は、季節や天候に左右されず安定供給が可能な利点がある一方、施設の設置・運営コストが莫大といった課題も多い。

政策目標

高度な施設園芸について、低コスト化技術、高付加価値技術の開発・実用化等を推進

<内容>

1. 園芸用施設の導入を支援

産地の収益力向上に向けた農業者、農業生産法人等による低コスト耐候性ハウス、高度環境制御栽培施設、養液栽培装置等の施設整備・リース導入や、栽培技術の習得、新品種の実証等の取組を支援します。

産地活性化総合対策事業(ソフト) 2,149 (4,310) 百万円の内数
補助率: 1/2以内、定額(10/10)

事業実施主体: 産地収益力向上協議会、民間団体

産地活性化総合対策事業(ハード) 8,555 (2,205) 百万円の内数
補助率: 1/10以内

事業実施主体: 農業者団体等

農畜産業機械等リース支援事業 1,627 (2,742) 百万円の内数
補助率: 定額(リース料のうち物件購入相当の1/2以内)

事業実施主体: 産地収益力向上協議会

強い農業づくり交付金 3,127 (14,385) 百万円の内数
補助率: 都道府県への交付率は定額(事業実施主体へは事業費の1/2以内等)

事業実施主体: 農業者団体等

2. 高度環境制御栽培施設の生産技術や人材育成の取組を支援

高度環境制御栽培施設の低コスト安定生産技術の実証・展示・研修の全国的な取組を支援します。また、高度環境制御栽培施設の施設・資材の標準化や栽培された農産物の栄養成分に関する消費者への的確な情報提供等を推進します。

〔産地活性化総合対策事業（ソフト） 2, 149（4, 310）百万円の内数〕
補助率：定額（10／10）
事業実施主体：大学、民間団体等

[お問い合わせ先：生産局生産流通振興課（03-6744-2113（直））]

施設園芸の高度化の推進

産地の収益力向上に向けた支援メニューの1つとして、高度環境制御栽培施設などの高度な施設園芸技術の普及・拡大を支援

具体的には、

- ・ 施設園芸農家のステップアップ(収益力向上)のための施設・技術の導入を支援
- ・ 併せて、更なる技術開発や人材育成、需要拡大に向けた環境整備を推進



太陽光利用型植物工場



完全人工光型植物工場

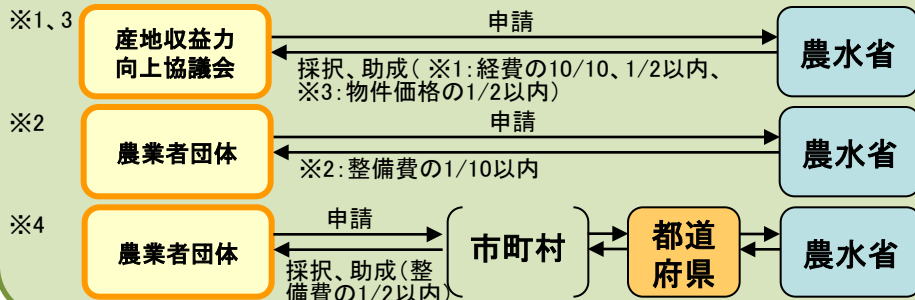
支援策（平成23年度予算概算決定）

(1) 施設導入, 既存施設園芸の高度化

産地の収益力向上に向けた栽培技術の習得、新品種の実証等^{※1}の取組、低コスト耐候性ハウス、高度環境制御栽培施設、養液栽培装置等の施設整備^{※2, 4}やリース導入^{※3}を支援。

【 ^{※1} 産地活性化総合対策事業(ソフト)	2,149百万円の内数】
【 ^{※2} 産地活性化総合対策事業(ハード)	8,555百万円の内数】
【 ^{※3} 農畜産業機械等リース支援事業	1,627百万円の内数】
【 ^{※4} 強い農業づくり交付金	3,127百万円の内数】

<事業スキーム>



(2) 低コスト安定生産技術の確立

高度環境制御栽培施設における野菜等の生産コスト削減、生産の安定化、軽労化を図るため、低コスト複合環境制御技術、省エネ技術等の開発^{※1}や高度環境制御栽培施設の拠点における技術実証等^{※2}の取組を支援。

【 ^{※1} 農作業の軽労化に向けた農業自動化・アシストシステムの開発	348百万円の内数】
【 ^{※2} 産地活性化総合対策事業(ソフト)	2,149百万円の内数】

(3) 人材育成・環境整備

①高度環境制御施設の栽培・経営を担う人材の育成に向けた人材育成プログラムの確立や産地指導者の育成、②設置コスト削減に向けた施設・装置の標準化、③高度環境制御栽培施設で栽培された農産物の差別化と需要拡大のためのメリット情報の提供方法の検討等の取組を支援。

【産地活性化総合対策事業(ソフト) 2,149百万円の内数】